

◆農林水産部

「部落差別の解消の推進に関する法律」(案)について、この法律ができるまでに部落問題の解決に向けて具体的に考えてほしいと要求した。また、子どもの貧困対策に関する計画について、部として子どもの貧困は後継者がいない状態になるので早急に考えてほしいと要求した。支部要求については、磯根漁場再生事業問題は、今後も事業を継続して実施できるように取り組んでいくと方向性が示された。また、農業用機械については、各市町村からあがってきてもらえば、農林部として予算を確保し、対応していくと示された。さらに、鳥獣対策についても和歌山市が実施されている有害捕獲で対応できるので市に働きかけると回答があった。また、農業用水路、溜池・農業施設の育成など部落の地域で厳しい実態があるため、早急な対応を要求した。



◆県土整備部

子どもの貧困対策に関する計画について、福祉保健部だけの問題としてとらえるのではなく、部も積極的に取り組むよう要求した。

支部要求は、住宅、道路改修・拡幅、防災対策、浸水・排水対策など、生活環境にかかわる課題が出さ



れ、県からは、現場確認をおこなう、当該市町村と連絡をとって状況確認をおこなうなど、前向きな回答を得られた。河川改修や国の補助金にかかわる課題については、国に強く要求してもらいたいと要求した。

◆環境生活部

産業・就労・教育・福祉・環境・労働の問題が蓄積している。10月に開催した子どもの貧困学習会に、子ども会と連携する部が参加しなかったのはなぜか問いかけたところ、福祉保健部からそのような話し合いがあったと聞いたのが、対県交渉の3日前だということ。分り、県各課の横の連携がとれていない現状が明らかになった。共通課題をもち、交渉することが基本姿勢ではないかと強く求めた。



◆福祉保健部

平見良太・部長から「新法には、実態調査が明記されている。県では人権課題の現況調査のデータももっている。部落問題を意識して

各部の施策をおこなうように、部として関係部に働きかけたことはあるか」と問うと、部長から「さまざま事業を実施しているが、施策が人びとに届いているのかと問われている。部全体としても念頭において取り組んでいく」と答えた。また、子どもの貧困対策について、全体会で「県全体の子どもの状況を把握する必要があり、先進地の事例を検討する」と回答したが、その真意を問うと「実態調査をする」と部長が答弁した。



◆知事室

県民への広報を強化していくことで確認している。子どもの貧困対策についてはその重要性をふまえ、機会あることに県民に広報していく。

◆総務部・危機管理

昨年の「同対審」答申50年をふまえ、差別が現存する限り、同和問題解決にむけた取り組みをすすめていくとした姿勢を確認。登録型本人通知制度の各市町村の登録を増やしていくことを市町村に徹底していきたい。子どもの貧困対策については、その所管について議論となり、全庁的などりくみを進め、管理する機関や組織の必要性を強く訴えてきた。まちづくりプロジェクトは、各支部と連

いしていく。支部からの個別要求については、防災関係、緊急避難場所の設備など市町村と協議していくことを確認した。



◆企画部・警察本部・公安委員会

まちづくりプロジェクトは各支部と連携していく。地区の安全対策については、市町村に話をししていくと回答した。

各市町村交渉 振興局交渉

◆岩出市(10/21)

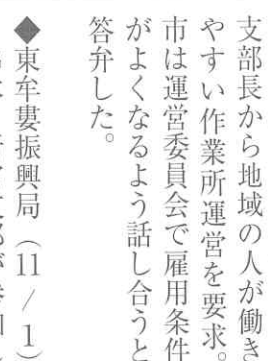
市役所でおこなわれ、市を代表して中芝正幸・市長が「同和問題の解決は市政の重要な柱として位置づけと取り組んでいる」とあいさつをした。

その後、同和向け改良住宅の建替えや集会所・児童館の充実、本人通知制度の登録状況、防災計画、通学路の安全強化など、7項目にわたる支部要求への回答をうけた。参加者からは、関係機関に任せるとはならず、市が主導権をもって、市の事業として対応してほしいと強く要求した。

◆田辺(10/24)

市役所でひらき、行政から23人、支部から15人が参

加した。支部長から、あらたな法律が成立しようとしている。差別されればなしでなくなることを望まれるとあいさつした。藤本哲史・委員長から、市の「一部の人の誤った偏見」という回答が気になる。大阪府警が「土人」をいう差別発言をした。決して「一部の人の偏見」じゃないと指摘。市は、市として市民で解決すると回答した。大西重美・支部長から地域の人が働きやすい作業所運営を要求。市は運営委員会で雇用条件がよくなるよう話し合うと答弁した。



◆東牟婁振興局(11/1)

申本・新宮支部が参加し交渉した。東牟婁管内で発生した差別事件の現状や昨年の太地町の教育長による発言をふまえ、各市町村において温度差のないよう教育・啓発のとりくみを進めるとともに、差別や人権侵害における相談体制の充実と人権に関する個別法が制定しているなかでの管内

の自治体はもちろん、県民へも周知していくと取り組みを訴えた。また、雇用や福祉・教育といった地域の課題も問題解決に向けて早急な対策を強く要望した。

◆有田振興局(11/4)

紀中ブロック(有田市、広川、湯浅)3支部30人で交渉した。

はじめに、宮本・書記長から、11月14日の対県交渉にむけ、実のある交渉にな

京高裁は鑑定人専門 再審開始を!

狭山市民集会

狭山事件の再審を求め市民集会が10月28日、日比谷野外音楽堂でひらかれた。

はじめに、組坂繁之・中央執行委員長から「石川さん宅から発見された万年筆は偽物でねつ造であることがわかり、この段階で強力な運動を展開して第3次再

審闘争を実現して石川さんの無実を勝ち取ろう」とあいさつした。つづいて、応援メッセージがあり、弁護団報告とつづき、連帯のアピールとしてえん罪をとものに訴えてきた足利事件の菅家さん、布川事件の桜井さん、袴田事件の袴田さん、志布志事件の川畑さんより応援のメッセージがあった。その後、日比谷野外音楽堂へ常盤橋公園前までの道をデモ行進し、石川さんの無実と再審開始を訴えてきた。

今後の日程

(2017年1月)

- 5 仕事はじめ
- 13 執行委員会・県委員会・旗びらき (ダイワロイネットホテル)
- 20 企業連交礼会 (ダイワロイネットホテル)
- 23~24 第17回和歌山・人権啓発研究集会 (ホテルシーモア)
- 28~29 よみかき交流会 (ホテルシーモア)

(2月)

- 2~3 第31回人権啓発研究集会 (名古屋市)
- 12~13 第1回全国女性活動者会議 (岐阜市)
- 18 ふじ本まり子女性のつどい (アパローム紀の国)
- 21 部落解放中央共闘会議第41回総会(東京)
- 23 狭山ピラ統一行動
- 25~26 第39回全国保育研究集会 (京都市・宇治市)

◆各支部旗びらき

- | | |
|-----------|--------|
| 5 新宮 | 14 那賀、 |
| 6 平井・湯浅 | 15 古和田 |
| 7 善明寺・杭ノ瀬 | 18 笠田東 |
| 8 岩橋 | 19 岩出 |
| 10 御坊 | 20 有田市 |